

2022年度第2四半期  
決算説明資料

**神 鋼 商 事** 株式  
会 社

証券コード：8075

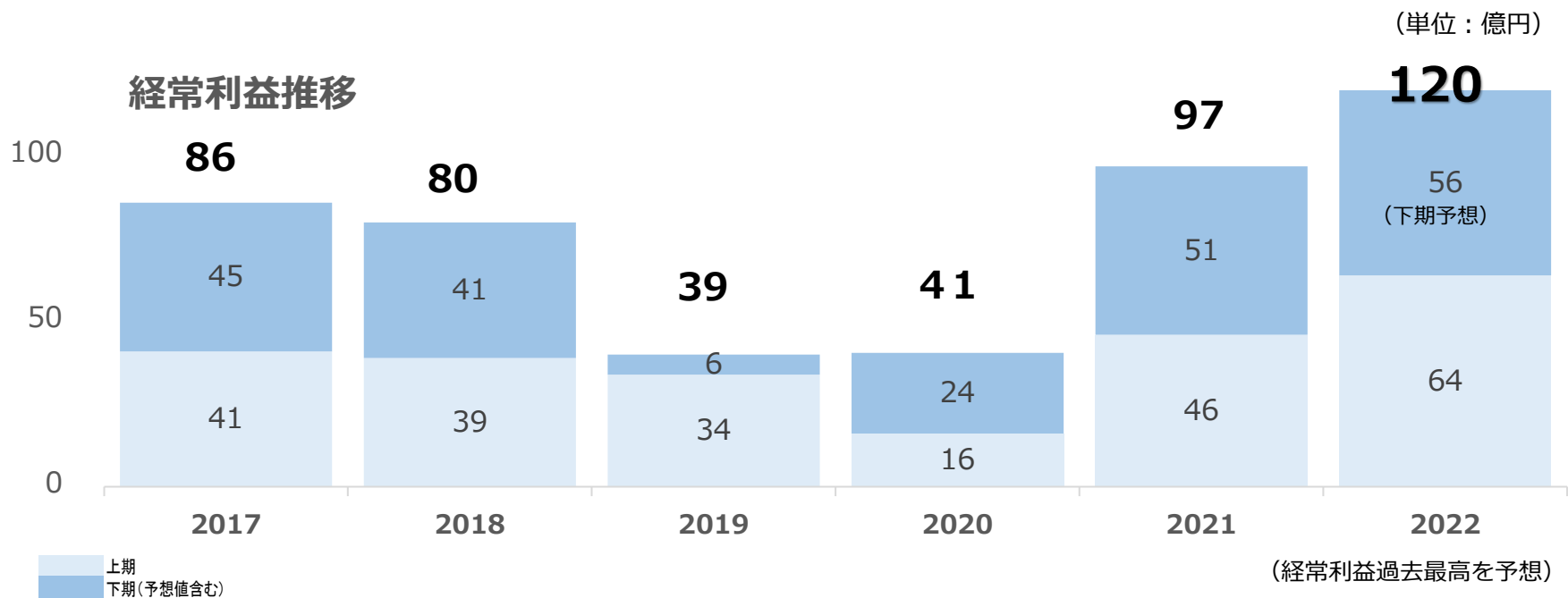
# 本資料のサマリー

## 1. 業績概要

- 2022年度第2四半期の経常利益は64億円(半期としては過去最高)  
→鉄鋼、非鉄金属の各セグメントが引き続き業績を牽引
- 2022年度通期の経常利益は、鋼材価格等の市況価格の上昇と為替影響等により、120億円へ上方修正（前回公表：106億円）  
業績修正に伴い、年間配当も300円に上方修正（前回公表：240円）

## 2. Topics

## 3. 参考資料



1. 業績概要
2. Topics
3. 参考資料

1. 業績概要

2. Topics

3. 参考資料

# 2022年度 第2四半期 連結損益計算書

- 経常利益は64億円、前年同期比+18億円の増益（約1.4倍へ）  
主原料価格と鋼材価格等の市況価格の上昇により、各セグメントの売上総利益が増加
- 第2四半期純利益は44億円、前年同期比+6億円の増益（約1.2倍へ）

(単位：億円)

	2021年 第2四半期	2022年 第2四半期	増減額	増減率(%)
売上高	2,242	<b>2,786</b>	+544	24.3%
売上総利益	158	<b>187</b>	+29	18.1%
販売管理費	▲117	▲ <b>122</b>	▲5	-
営業利益	41	<b>64</b>	+23	57.1%
経常利益	46	<b>64</b>	+18	40.0%
当期純利益	39	<b>44</b>	+6	14.9%
配当金(円)	85	<b>150</b>	+65	-

# 2022年度 第2四半期 セグメント別経常利益増減

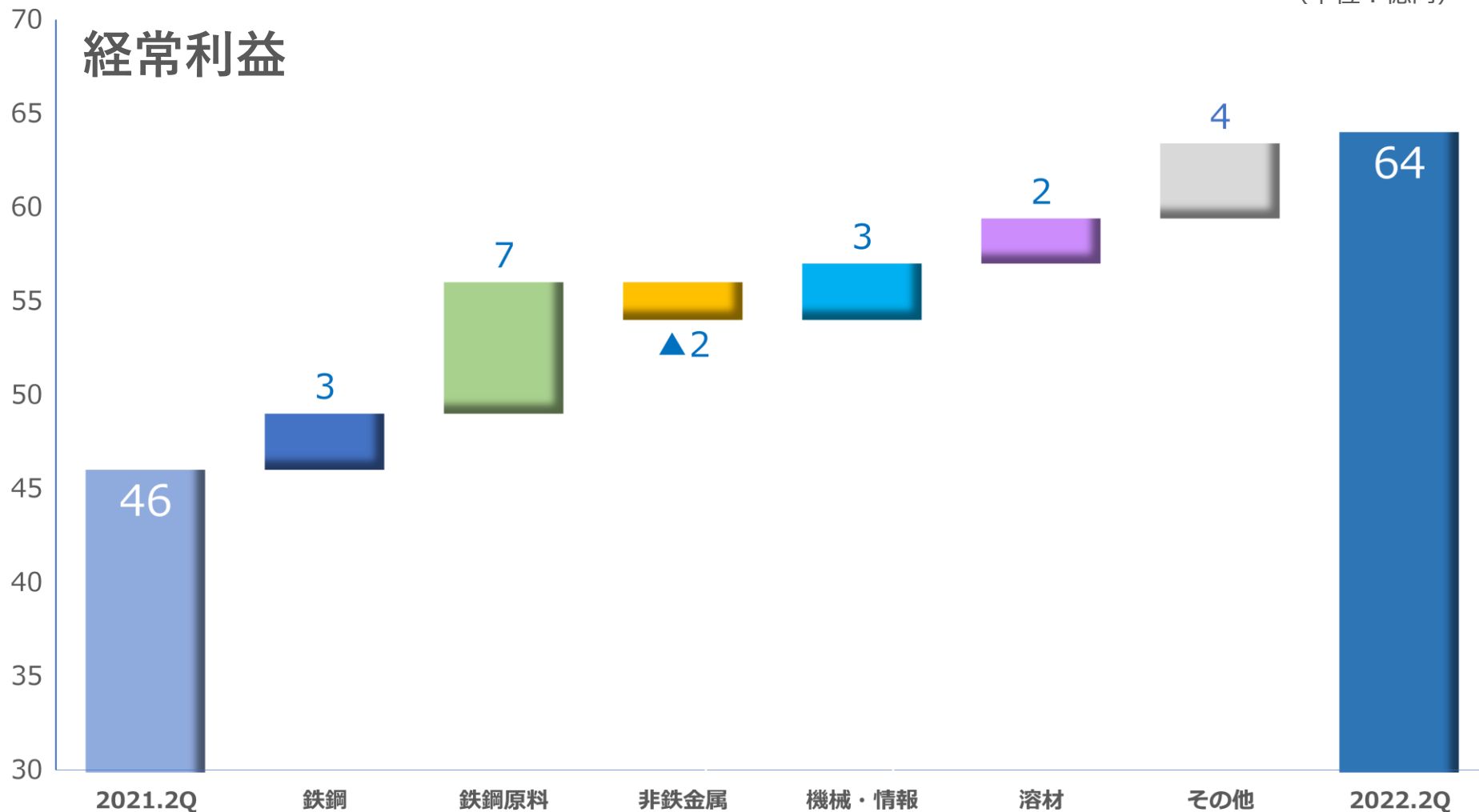
(単位：億円)

	2021年 第2四半期	2022年 第2四半期	増減額	増減率(%)
鉄 鋼	25	28	+3	13.0%
鉄 鋼 原 料	0	7	+7	-
非 鉄 金 属	17	15	▲2	▲12.7%
機 械 ・ 情 報	3	6	+3	98.1%
溶 材	1	4	+2	226.4%
そ の 他	▲0	4	+4	-
合 計	46	64	+18	40.0%

# 2022年度 第2四半期 セグメント別経常利益増減

(単位：億円)

## 経常利益



半導体不足による自動車減産の影響を受けつつも、鋼材価格の上昇等により増益

主原料価格上昇及びチタン原料取扱量増等により増益

単体での伸銅品取扱量減等により減益

国内外での建機部品等の取扱増や国内子会社の業績好調等の要因により増益

国内外での溶接材料の価格上昇や国内子会社の販売好調により増益

不動産賃貸事業等での収益

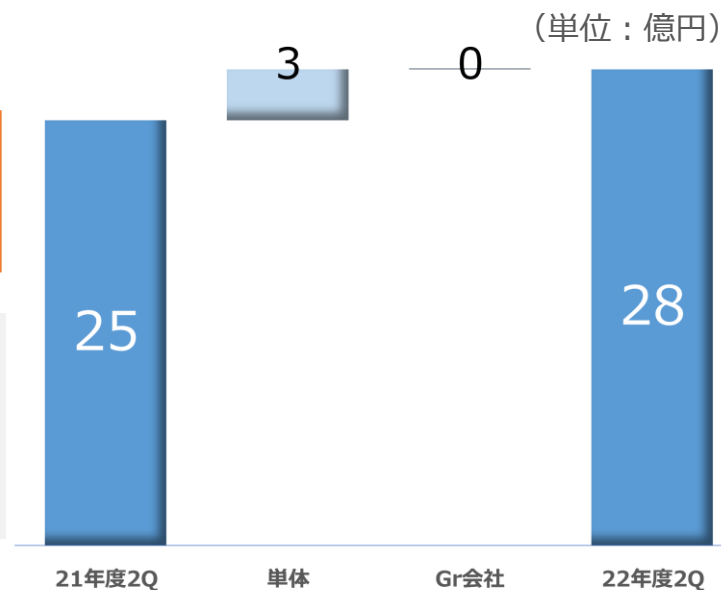


# 2022年度 第2四半期 セグメント別経常利益増減 (詳細)

## 鉄 鋼

年度	2021年度 2Q	2022年度2Q	増減
経常利益	25	28	+3

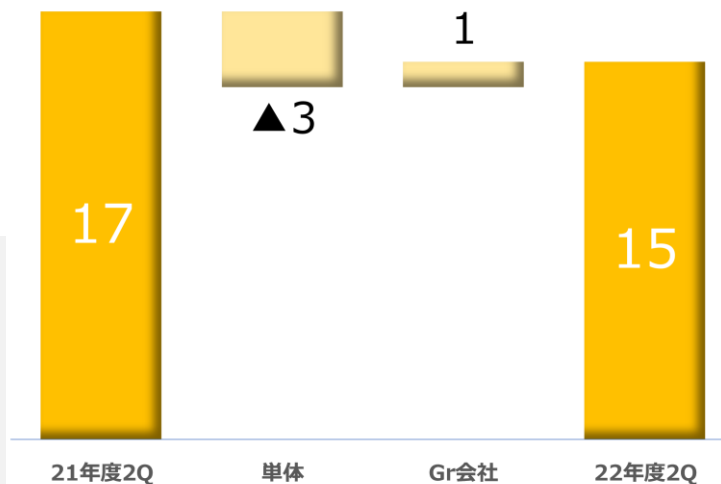
- 単体は、自動車減産影響等により取扱数量は減少したものの鋼材価格の上昇により増益
- また、持分法適用会社等、出資先の業績が好調に推移し、一部増益に寄与



## 非鉄金属

年度	2021年度 2Q	2022年度2Q	増減
経常利益	17	15	▲2

- 単体は、伸銅品や非鉄スクラップの取扱量減少等の影響により減益
- Gr会社は、主に中国子会社の自動車向けアルミ板材の取扱いが好調に推移していることや、国内子会社の半導体分野向け取扱量増等により増益





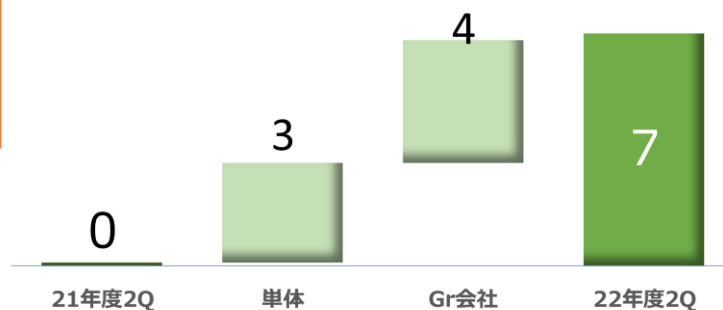
# 2022年度 第2四半期 セグメント別経常利益増減（詳細）

## 鉄鋼原料

年度	2021年度2Q	2022年度2Q	増減
経常利益	0.1	7	+7

- 主原料価格の上昇およびチタン原料の取扱量増加により増益

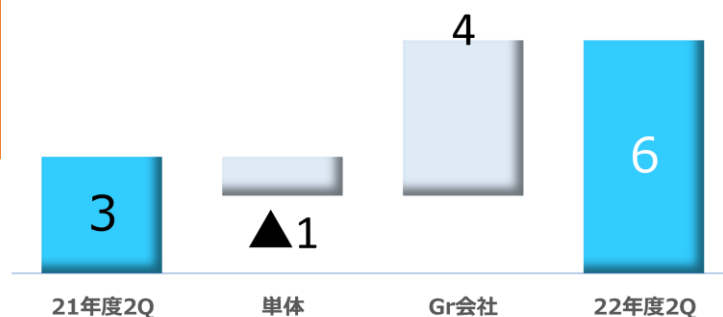
(単位：億円)



## 機械・情報

年度	2021年度2Q	2022年度2Q	増減
経常利益	3	6	+3

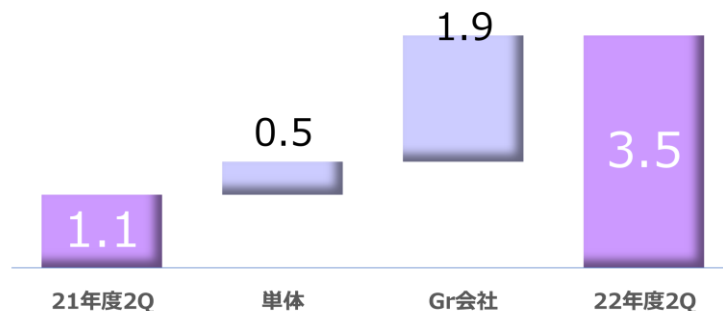
- 国内での回転機サービスビジネス増加及び国内外での建機部品の取扱い増加、更に国内子会社の好業績により増益



## 溶材

年度	2021年度2Q	2022年度2Q	増減
経常利益	1.1	3.5	+2.4

- 国内外での溶接材料価格上昇や、国内子会社が事業譲受した溶材関連資機材販売事業が堅調に推移していること等により増益



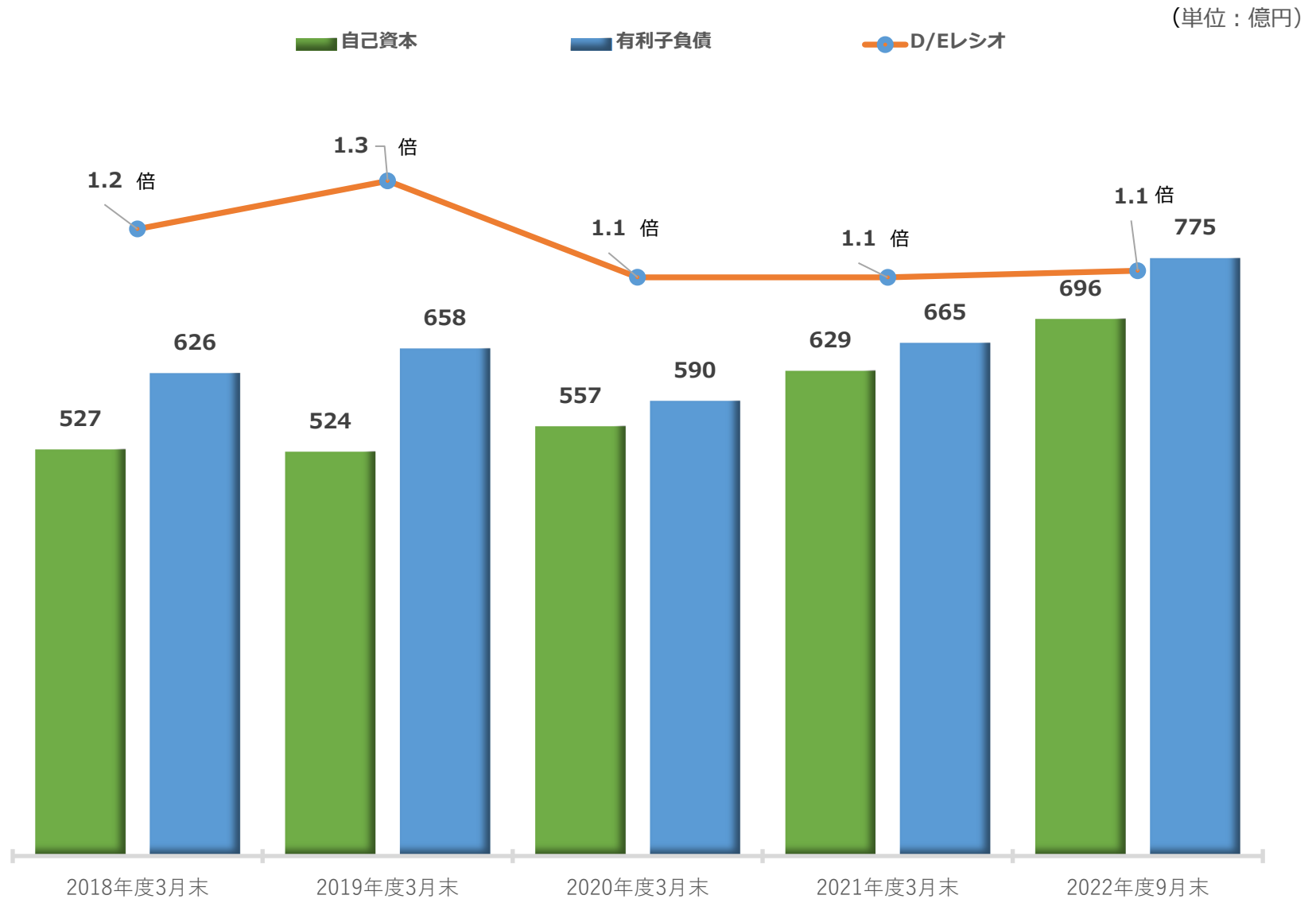
# バランスシート状況

(単位：億円)

	2021年度 3月末 (2022.3末)	2022年度 9月末 (2022.9末)	増減額
流動資産	3,166	3,598	+432
固定資産	474	505	+31
〔有形・無形固定資産	94	101	+7
投資その他の資産	380	404	+24
<b>資産合計</b>	<b>3,640</b>	<b>4,103</b>	<b>+463</b>
流動負債	2,793	3,153	+360
固定負債	210	240	+31
<b>負債合計</b>	<b>3,003</b>	<b>3,394</b>	<b>+391</b>
自己資本	629	696	+67
非支配株主持分	8	14	+5
<b>純資産</b>	<b>638</b>	<b>709</b>	<b>+72</b>
外部有利子負債	665	775	+110
自己資本比率	17.3%	17.0%	▲0.3%
D / E レシオ	1.1倍	1.1倍	+0.1倍
1株当たり純資産	7,107.8円	8,060.7円	

# バランスシート状況

● D/Eレシオ： 1.1倍 (参考：ネットD/Eレシオ 0.8倍)



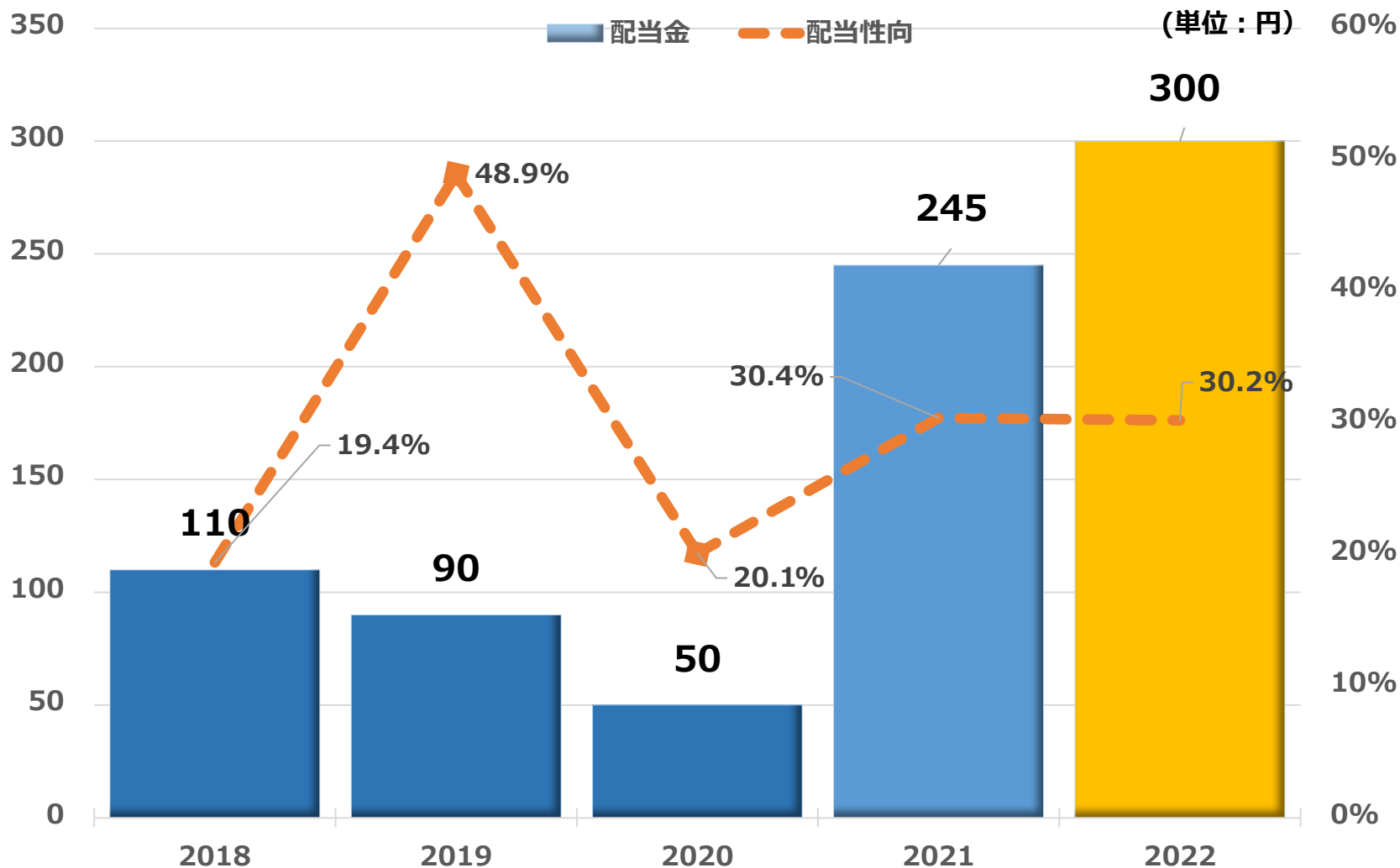
# キャッシュフローの状況

(単位：億円)

	2021年 第2四半期	2022年 第2四半期	増減額
営業活動によるCF（営業CF）	▲102	24	+127
投資活動によるCF（投資CF）	+1	▲14	▲16
フリーキャッシュフロー （営業CF+投資CF）	▲101	+10	+111
財務活動によるCF（財務CF）	+93	+42	▲51
総合キャッシュフロー （フリーキャッシュフロー+財務CF）	▲8	+52	+59
現金及び現金同等物の期末残高	220	214	-

# 配当推移

- 中期経営計画にて目標配当性向を30%と設定
- 業績上方修正に伴い、年間配当見通しを300円とする（中間150円、期末150円）  
※前回公表値（240円）から60円の上方修正



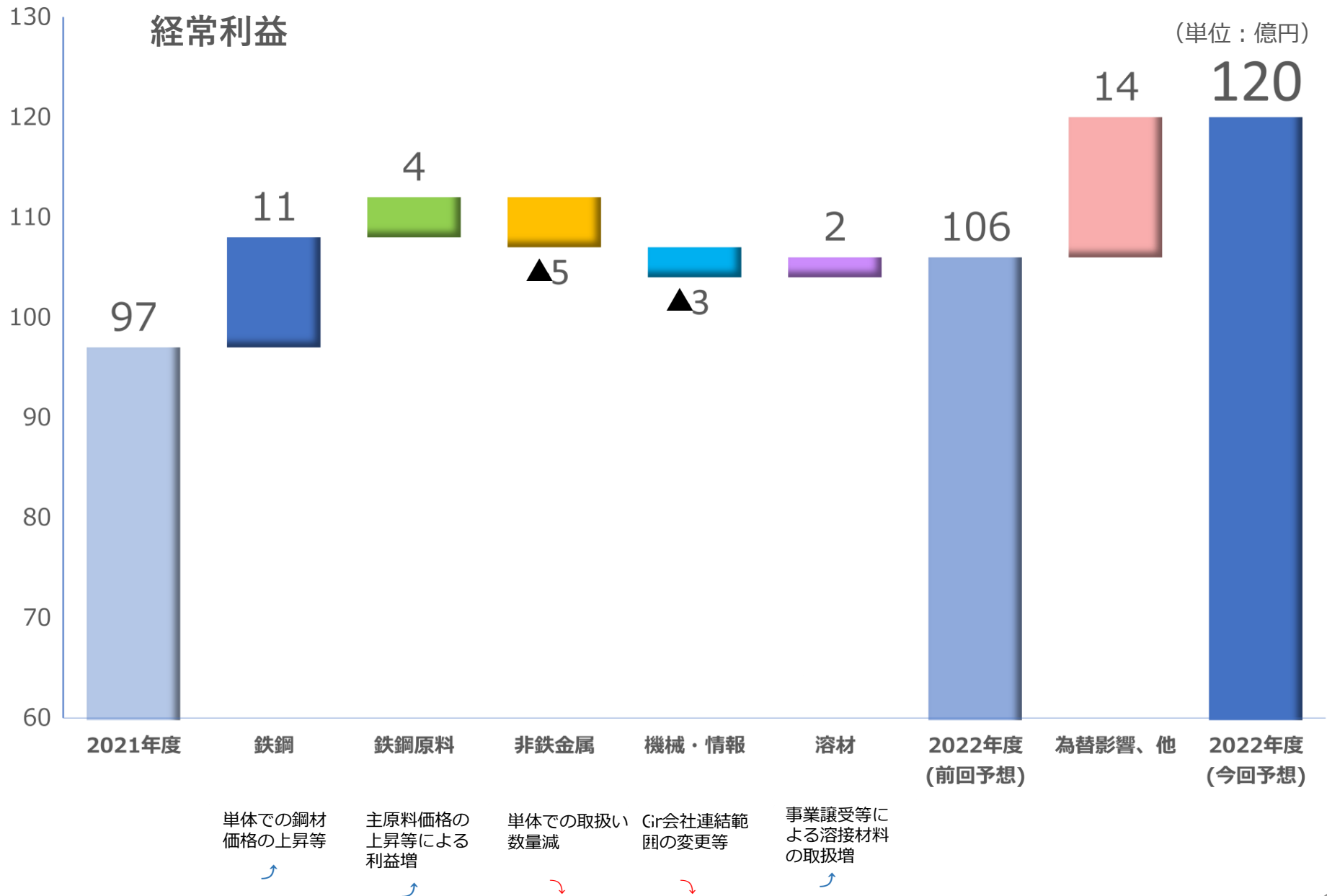
# 2022年度 業績予想・セグメント別増減要因

- 2022年度通期の経常利益は、前期比約1.2倍の120億円を予想。
- 前期に引き続き、鉄鋼・非鉄金属セグメントが牽引

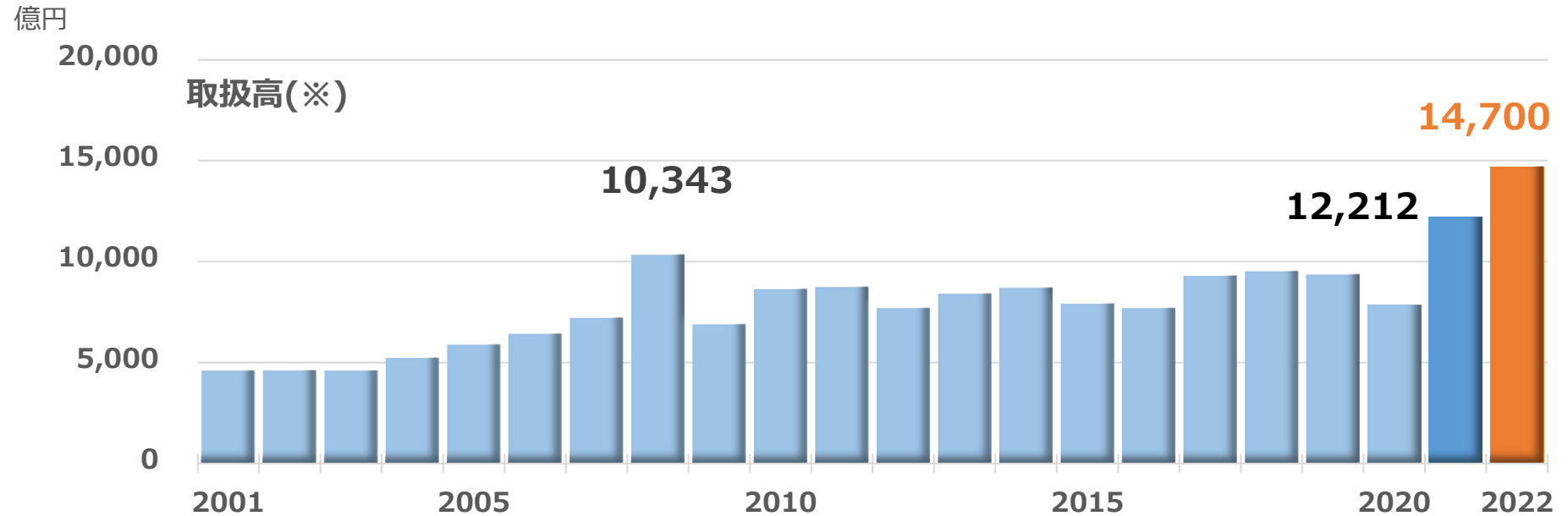
(単位：億円)

	2021年度	2022年度 (前回公表値)	2022年度 (今回公表値)	前年度比 増減額	前年度比 増減率
売上高	4,944	5,400	5,770	+826	16.7%
営業利益	101	97	119	+18	17.8%
経常利益	97	106	120	+23	23.7%
当期純利益	71	70	88	+17	23.9%
1株当たり 当期純利益	805.9円	790.5円	1,000.0円	+194.1円	+24.1%
配当金(円)	245円	240円	300円	+55円	—

# 2022年度 業績予想・セグメント別増減要因



# 取扱高・経常利益の推移



(※) 取扱高・・・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しなかった場合の売上高





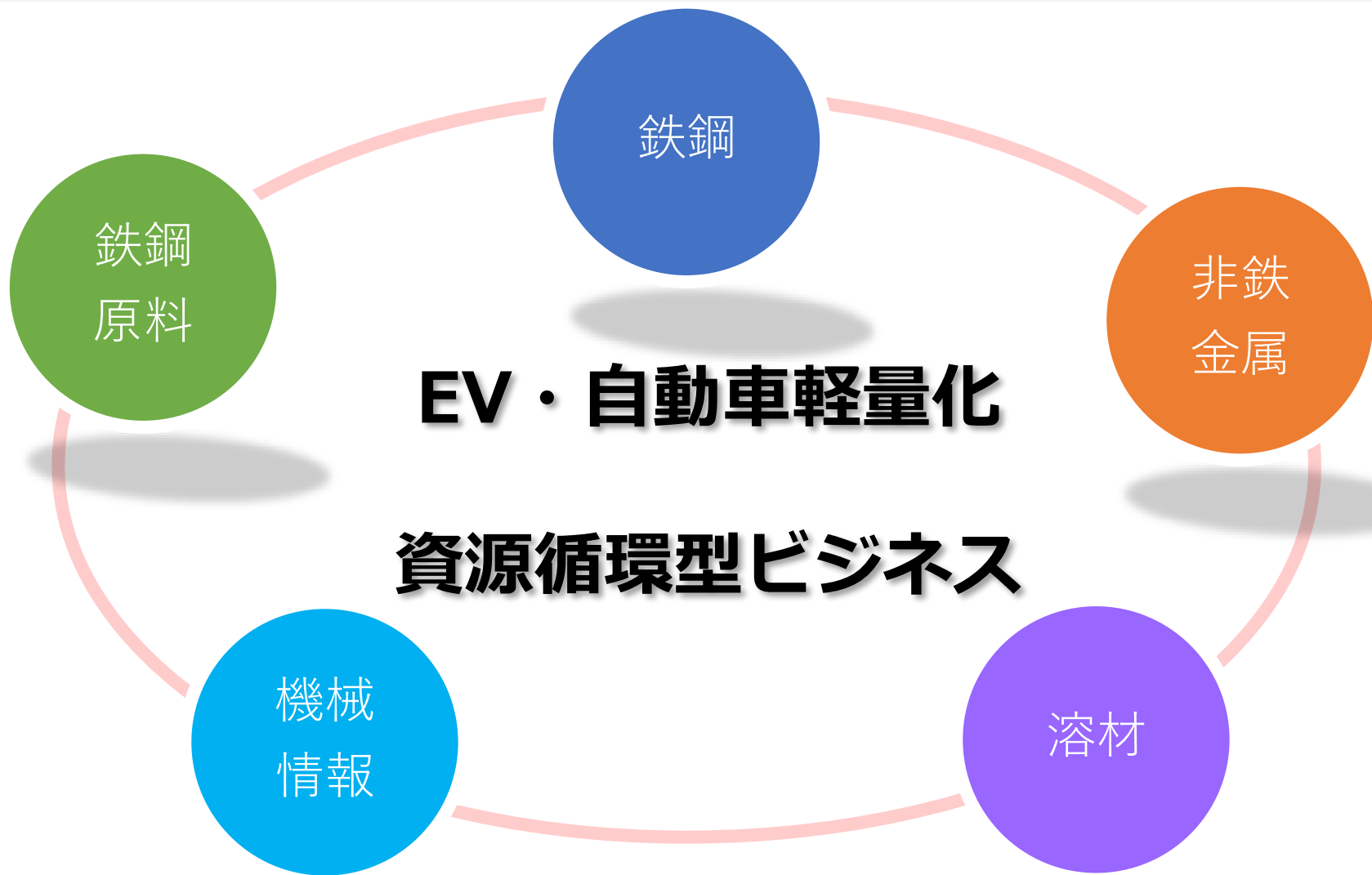
1. 業績概要

2. Topics

3. 参考資料

# 重点分野への取組み

中期経営計画にて重点分野を、「EV・自動車軽量化」と「資源循環型ビジネス」と定め、各本部にて様々な取組みを展開



# 中期重点施策の実施状況



自動車用アルミ板のリサイクル事業

- 既存の取り組み
- 新規の取り組み



蘇州神商金属(アルミコイルセンター)の設備投資  
NEV向けアルミ加工能力増強



バイオマス燃料供給  
GGL認証の取得



北米2拠点(GBP、AWP)での  
自動車向け特殊鋼2次加工能力増強



	日本	中国・東アジア	東南アジア	北米	欧州	インド・中東 アフリカ・その他
自動車分野 (各種輸送機を含む)	● 特殊鋼	● アルミ板材 ● 特殊鋼	● コネクタ(銅) ● 溶接材料	● 特殊鋼	● 非鉄加工	
プライマリー原料分野 (製鋼原料、地金)		● 神戸製鋼Gr 非鉄事業原料調達	● 合金鉄			
環境リサイクル分野	● アルミ屑		● バイオマス燃料 ● 雑電線屑	● 冷鉄源調達 ● バイオマス燃料		● 非鉄原料
建築分野	● 建設鋼材・ 建材製品		● 非鉄加工			
エレクトロニクス分野 (二次電池、半導体向け)	● 電池部材 ● ターゲット材	● アルミ精密加工	● アルミ厚板切断			
建設機材分野	● 溶接材料 ● 建機部品		● 機械メンテナンス			● 建機部品合併 ● 厚板溶断



当社子会社エスシーウエルによる  
溶接関連資機材販売事業の事業譲受



半導体・FPD用イオン注入装置の製造  
を手がける神商精密器材(揚州)  
を子会社化



ベトナム・アルミ切断加工会社設立予定  
KTNメタルベトナム(仮称)  
(写真はKTN)



Track Design India 設立  
建設機械向け部品製造の合併会社

Topics 2022年度の注目企業

# 蘇州神商金属

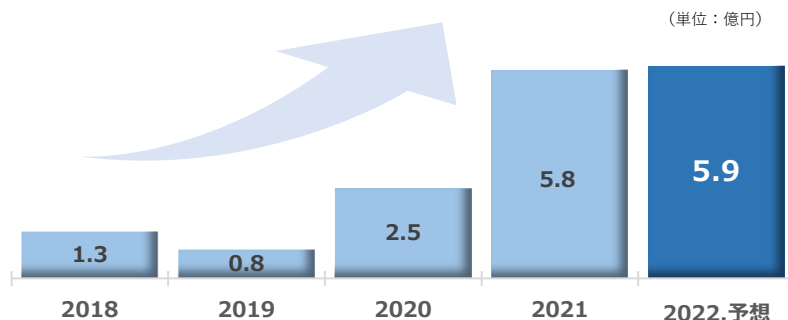


設立 : 2006年  
従業員数 : 90名 (2022年3月現在)

事業内容 : 事業内容 **アルミ**圧延材の  
スリット・シャーリング加工・販売

設備 : スリッター<sup>※1</sup> 3基  
: レベラーシャー<sup>※2</sup> 2基 + **新規1基**

## 蘇州神商金属経常利益推移



※1 シート状となったロールを巻き戻しながら流れ方向に刃物で切断し、再度ロールとして巻き取る機械

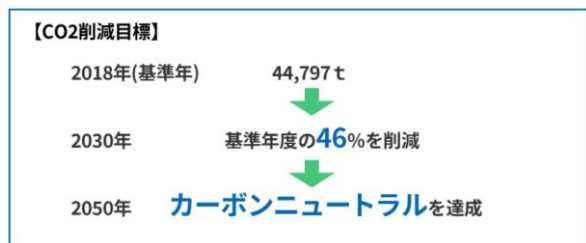
※2 ロール全体でアルミ板を押し素材の反り・曲がりを少なくしたせん断機



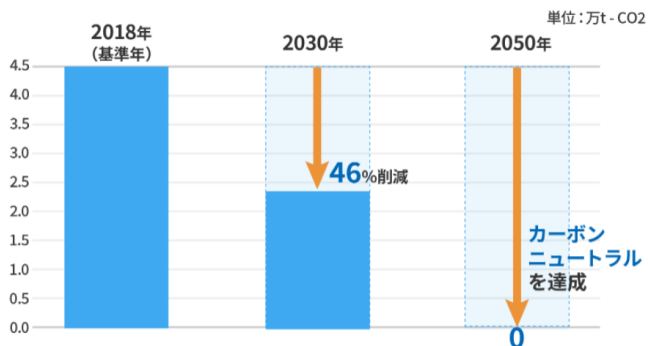
# Topics サステナブル社会の実現に向けた取組み

神鋼商事全体でもサステナブル社会の実現に向け、様々な取り組みを展開

～ TCFD ～



【CO2排出削減目標】



～ 取組み事例 ～



蘇州神商金属にて太陽光発電設備導入



環境省推奨「COOL CHOICE」に賛同

一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会に入会



一般社団法人クリーン燃料アンモニア協会に入会

バイオマス燃料供給  
GGL認証の取得

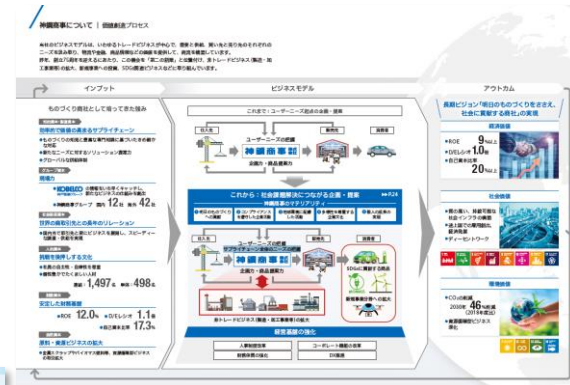


※ 画像をクリック頂くとニュースリリースをご覧いただけます

様々な取り組みから、カーボンニュートラルへ対応していきます

# Topics 統合報告書

当社の財務・非財務情報、特にESGへの取組みに関する詳細は統合報告書をご参照ください。



2022年10月5日発行

統合報告書 : [https://www.shinsho.co.jp/ir/library/pdf/igr\\_2022\\_view.pdf](https://www.shinsho.co.jp/ir/library/pdf/igr_2022_view.pdf)

(画像をクリック頂くと統合報告書をご覧いただけます)

1. 業績概要

2. Topics

3. 参考資料

## 神鋼商事株式会社

(2022年3月末時点)

業 態	商 社
証 券 コ ー ド	東京証券取引所 プライム市場(8075) <span style="float: right;">(2022年4月4日現在)</span>
住 所	<b>【大阪本社】</b> 大阪府大阪市中央区北浜二丁目6番18号(淀屋橋スクエア) <b>【東京本社】</b> 東京都中央区京橋一丁目7番2号(ミュージアムタワー京橋)
創 業	1946年11月12日
連 結 子 会 社 数	38社
従 業 員 数	連結：1,497名 (内、平均臨時雇用者数 101名) 単体： 498名 (内、平均臨時雇用者数 58名)
単 元 株 式 数	100株
事 業 内 容	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業、溶材各製品の売買及び輸出入



# 会社沿革



神鋼商貿(上海)有限公司



SHINSHO AMERICAN CORP.



THAI ESCORP LTD.

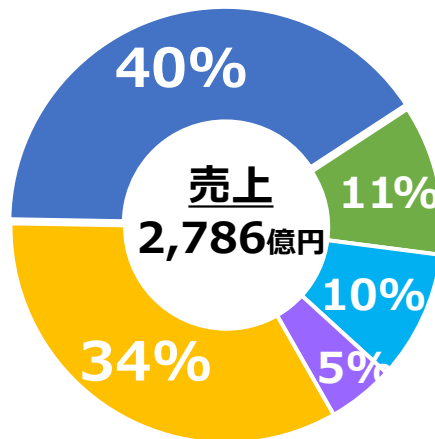


# セグメント別事業概要

- 当社は、5つのセグメントで事業を展開
- 鉄鋼・非鉄金属で売上の約74%、経常利益の約66%を占める（2022年度第2四半期）

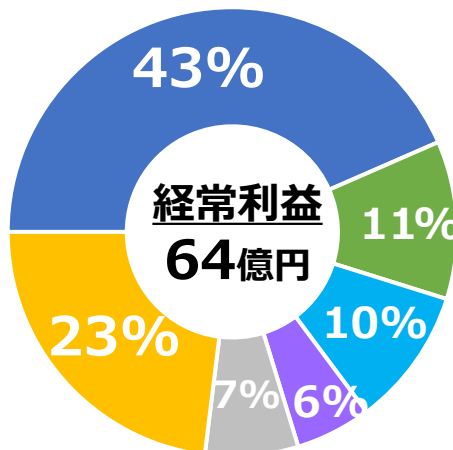
## 鉄鋼

自動車向けを中心に鉄鋼製品を国内・北米・中国・東南アジアに供給  
北米加工拠点の強化等、設備投資・事業投資を展開



## 非鉄金属

自動車・半導体・空調等へのアルミ・銅素材及び加工品の供給  
スクラップ・雑電線等のリサイクルビジネス及び国内外加工拠点の強化・新設



## 鉄鋼原料

鉄鉱石等、製鉄所向け原料を安定供給  
バイオマス燃料、鉄スクラップ等の資源循環型ビジネスにも注力



## 機械・情報

産業機械や建機部品、電子情報関連製品まで幅広い製品を取扱う  
メンテナンスや部品などのアフターサービスにも注力



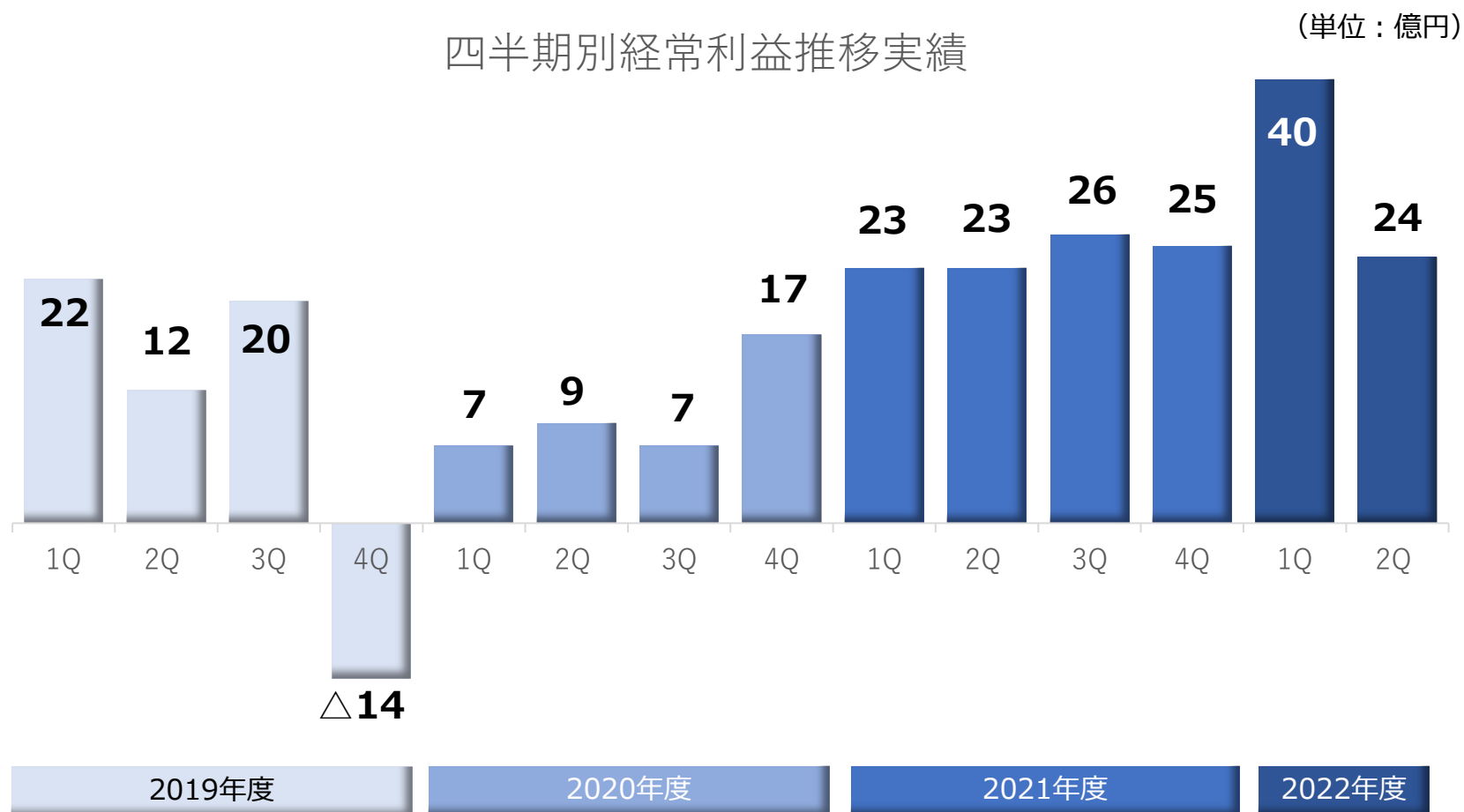
## 溶材

高品質・高シェアの溶接材料に溶接ロボット等を加えたトータルソリューションを提供



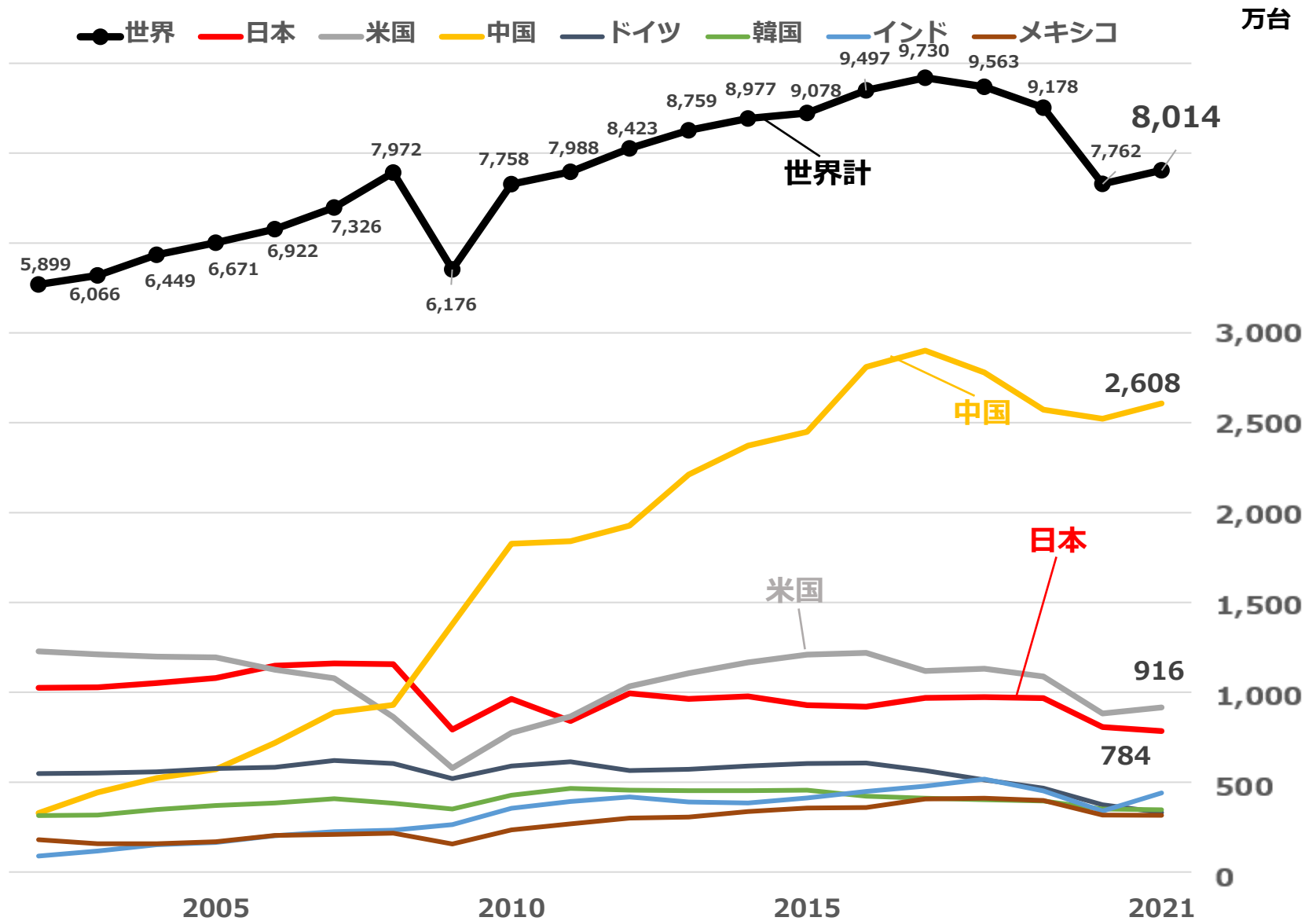
# 経常利益の推移（四半期ベース）

- 2022年度第2四半期経常利益は64億円、前年比18億円の増加
- コロナの影響や鉄鋼セグメントでの減損により赤字に陥った2019年度4Q以降概ね右肩上がり増加



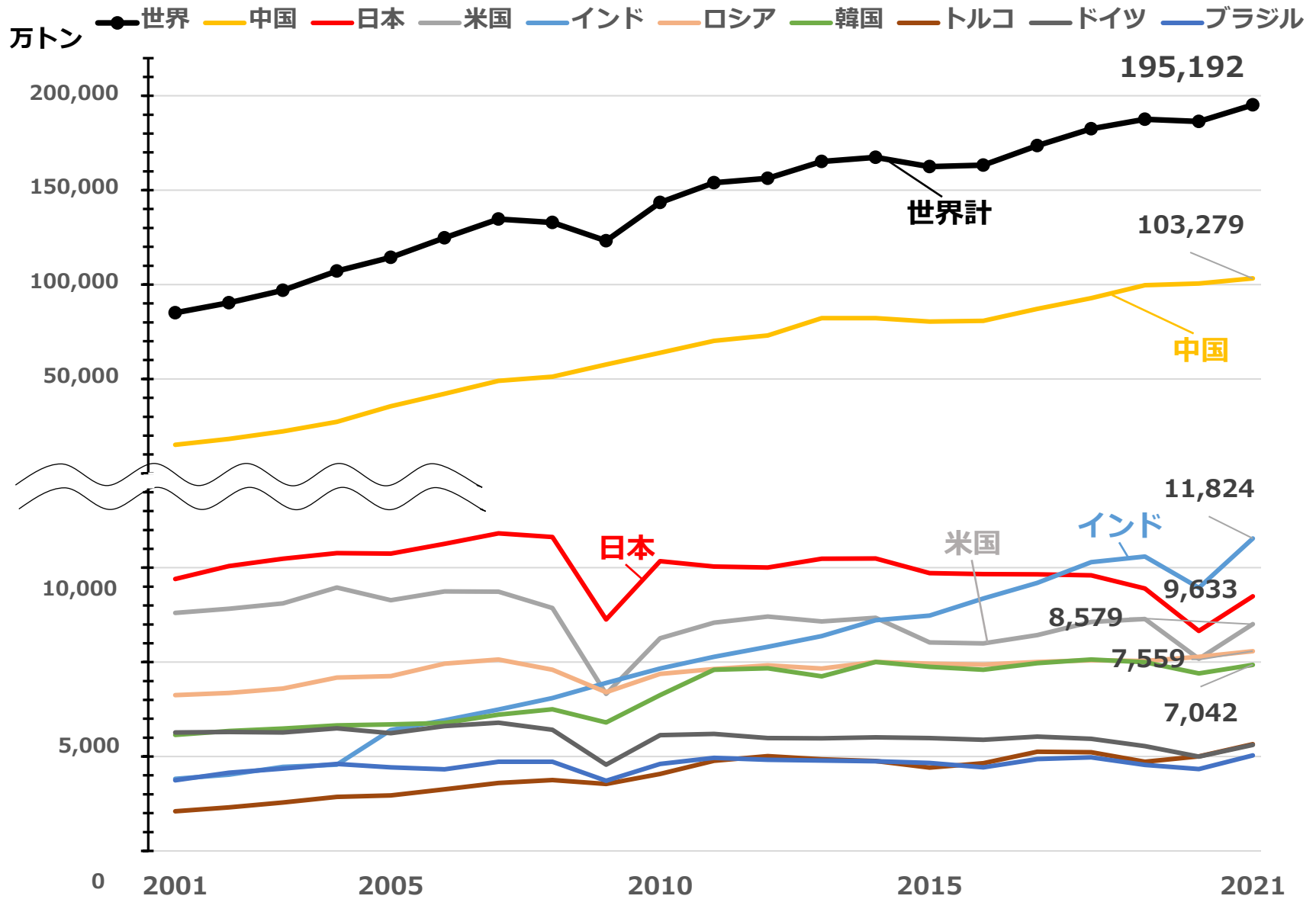
# 市況データ「自動車生産台数の推移」

(出所：OICA「Production Statistics」)



# 市況データ「粗鋼生産量の推移」

(出所：WSA「Statistical reports」)



## 企業理念

**私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、  
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。**

※本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。  
本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。